

鋼索鉄道事業の運賃改定申請について

丹後海陸交通株式会社(本社：京都府与謝野町 代表取締役社長/廣瀬一雄)では、2024年2月9日、近畿運輸局長宛てに鋼索鉄道の旅客運賃の変更認可申請を行いました。この申請理由及び申請内容は次の通りです。

1. 申請理由

当社鋼索鉄道は、日本三景の一つ天橋立を眺望することができる「天橋立傘松公園展望所」や西国28番札所「成相寺」参拝への交通手段として、国内外のお客様から広くご利用いただいておりますが、輸送人員は、他社との競合や余暇の多様化や旅行スタイルの変容等により、1991年度(H3)の約112万人をピークに減少し、2016年度(H28)には約55万人まで落ち込みました。ここ数年間は、景気回復やインバウンド需要に支えられ、一定の下げ止まり傾向にありましたが、2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度(R2)のご利用者数は約24.5万人、2021年度(R3)では約18.8万人にまで落ち込みました。

このような状況下、安全確保はもちろん、求められる各種サービスを提供しつつ事業継続の水準を維持するため、「安全性」「利便性・快適性」の向上のため、計画的かつ着実に各種の施策を遂行してまいりました。また、「新たな需要の創出・地域とのコミュニケーション」のため、高速バスや観光船との観光企画切符の発売、首都圏・中京圏および関西圏等の旅行会社への営業活動、インバウンド旅客の集客誘致のため多言語化に力を入れるとともに、天橋立傘松公園夜間ライトアップ等、傘松公園の魅力向上、地域の活性化にも積極的に取り組んでまいりました。

今後は、老朽化の進む車両・巻上設備や施設改修等の更新に加え、自然災害への防災対策、バリアフリー整備の推進等、安全・快適に資する安全投資への費用増加、採用力強化のための人件費の増加も見込まれております。

つきましては、天橋立鋼索鉄道が、健全な輸送環境を安定的に維持し、安全・安心・快適なサービスを提供し続けることを目的として、このたびの運賃改定の申請を行いました。

2. 改定内容

- (1) 実施予定日 2024年4月1日(月)
- (2) 改定率 17.6%
- (3) 普通旅客運賃 400円 (現行 340円)
- (4) 通勤通学定期 廃止 (過去3年にわたりご利用はありません)

3. 改定率

普通旅客運賃	定期旅客運賃			合 計
	通 勤	通 学	計	
17.6%	—	—	—	17.6%

4. 現行・改定運賃比較表

(1) 普通旅客運賃 (大人)

現行運賃	改定後の運賃	改定額
340円	400円	60円

※小児旅客運賃は、大人旅客運賃を折半し、10円未満の端数を10円単位に切り上げた額です。

(2) 通勤定期旅客運賃 (大人)

	現行運賃	改定後の運賃
1ヵ月	5,410円	—
3ヵ月	15,410円	—
6ヵ月	29,200円	—

(3) 通学定期旅客運賃 (大人)

	現行運賃	改定後の運賃
1ヵ月	4,050円	—
3ヵ月	11,550円	—
6ヵ月	21,890円	—

5. 収支実績と推定

(単位:千円、%)

	2022年度 (実績)	2023年度 (推定)	2024~2026年度 (3年間平均)	
			現行	申請
収 入	75,716	150,985	157,923	184,967
支 出	158,694	172,701	212,381	212,381
差 引	-82,978	-21,716	-54,458	27,414
収支率	47.7	87.4	74.4	87.1

6. 運賃収入内訳実績と推定

(単位：千円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (推定)	2024～2026年度(3年間平均)	
			現行	申請
定期外	73,029	146,491	153,255	180,299
定期	0	0	0	0
合計	73,029	146,491	153,255	180,299

7. 輸送人員の推移と今後の見通し

(単位：千人)

	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度 推定	2024 年度 推定	2025 年度 推定	2026 年度 推定
定期外	542	245	188	289	575	589	602	616
定期	0	0	0	0	0	—		
合計	542	245	188	289	575	589	602	616

8. 設備投資の実績と今後の計画

(1) 設備投資額の実績と今後の計画

(単位：千円)

	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度 計画	2024 年度 計画	2025 年度 計画	2026 年度 計画
投資額	16,339	5,939	4,234	21,990	67,390	150,200	8,000	244,000

(2) 主要な設備投資の内容

①列車無線更新工事(2022年度)

投資額：21,280千円

②ケーブルカー車掌省略工事(2023年度)

投資額：54,090千円

③巻上シーブ改修工事(2024年度)

投資額：137,000千円

④鋼索ロープ交換工事(2025年度)

投資額：7,000千円

⑤巻上機制御装置更新工事(2026年度)

投資額：222,000千円

9. 収支改善に向けた取組み

(1) これまでの取組み

①経費削減施策

- ・少人数オペレーションの実施
- ・シニア人材の活用

②サービス改善施策

- ・駅舎の改装
- ・車いす用スロープの新設やトイレ内のバリアフリー化
- ・観光企画切符の発売
- ・インバウンド旅客の集客誘致のため多言語化
- ・天橋立傘松公園夜間ライトアップ等、傘松公園の魅力向上

(2) 今後の取組み

- ・車両・巻上設備等の改修・更新

10. その他

鋼索鉄道と並行し営業する索道についても、同日に同額へ改定いたします。

11. お問い合わせ先

丹後海陸交通株式会社 経営企画部

TEL. 0772-42-0330 (平日 8:30~17:30)

以上